

【市内中学校の部 大賞】

海を見た日

鳥羽市立鳥羽東中学校 三年

上村 彩佳

ほら、また来るぞ
父の声に私はふり向く
テレビで見たことのある水の泡が
音をたてて私に突っ込んでくる
初めて海というものを見たあの春
波はとても高く感じた
これが海なんだ
広く青い水の世界が眩しかった
水飛沫が足元を濡らす
痛いくらいに冷たい水
海を見た日
私はここに越して来た
まだ潮の香という言葉さえ知らなかった

ほら、また来るよ
弟は海に走り出した
いつも見ている水の泡が
音をたてて弟に突っ込む
ここに来て八年目の夏
波は今だに高く感じる
そうか
そうか、これが海なんだ
いつも見ている風景が眩しい
波打ち際に立ってみる
あの頃と同じ冷たい水
海を去る時

私は深く溜め息を吐いた

今日も潮の香が鼻腔に滑り込んでくる

きれいだね

私は小さく呟く

きれいだよ

弟は大きく叫んだ

いつ来たって海は眩しい

そうだ、これが海なんだ

弟の手がスツと伸びてきた

私はその手を握り締める

どこかで波と波がぶつかった